2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社壽屋	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7809	URL	https://www.kotobukiya.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	清水　一行
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役管理本部長	（氏名）	村岡　幸広　　(TEL) 042-522-9810
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	3,162	△16.5	△277	―	△295	―	△228	―
2026年６月期第１四半期	3,785	―	141	―	152	―	104	―

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　　△230百万円(　　－%)　2026年６月期第１四半期　　109百万円(　　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△28.30	―
2026年６月期第１四半期	12.93	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	12,726	7,692	60.4
2026年６月期	12,883	8,298	64.4

（参考）　自己資本　2027年６月期第１四半期　　7,692百万円　　2026年６月期　　8,298百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	45.00	45.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.3	800	4.6	740	△12.2	500	0.4	61.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	8,550,900株	2026年６月期	8,550,900株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	470,421株	2026年６月期	470,421株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	8,080,479株	2026年６月期１Ｑ	8,062,079株

（注）期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式（2027年６月期１Ｑ 262,000株、2026年６月期 262,000株）が含まれております。
また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式（2027年６月期１Ｑ 262,000株、2026年６月期１Ｑ 280,400株）が含まれております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかに回復基調が続いているものの、米国政権の関税政策や不安定な世界情勢に起因する国内外の経済活動への影響及びエネルギー・原材料価格をはじめとする物価の継続的な上昇などにより、先行きが非常に不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは、「社会に貢献し、感謝される分野において常に感動と驚きを提供する健全なるNo.１企業であり続ける」という経営理念のもと、柔軟な事業展開を推進してまいりました。

国内市場におきまして、プラモデル製品の展開については、自社IP製品『メガミデバイス』より「PUNI☆MOFU」シリーズの「PUNI☆MOFU ロン」や「皇巫ツクヨミ　ファビュラス」及び自社IP製品『無限邂逅メガロマリア』より「篝火 真里亞［戦闘装束］」等を発売し、これらの製品を中心に当該期間の売上に貢献したものの、美少女プラモデル市場の企業間競争が激しいことを主要因として、当該カテゴリー全体の売上は前年同期比で減少しております。

フィギュア製品については、主に他社IP製品の展開となっており、『ホロライブプロダクション』より「百鬼あやめ～巫女衣装Ver.～」が当該期間の売上に貢献したものの、前年同期と比較して、1品目あたりの販売個数が減少していることを主要因として当該カテゴリー全体の売上は前年同期比で減少しております。

北米地域におきましては、リーズナブルな価格と豊富な品揃えを重視し、グローバルに展開すること、愛着のある作品の魅力を引き出すこと、より多くのファンが手に取りやすいことをコンセプトとしている『OSHI WORKS』の展開や、従来より支持されている『BISHOUJOシリーズ』等の製品が複合的に売上を牽引し、フィギュアカテゴリーの売上が前年同期と比較して増加しております。

アジア地域におきましては、国内市場と同様、特に中国市場を中心として、自社IP製品『メガミデバイス』より「PUNI☆MOFU ロン」や『無限邂逅メガロマリア』より「篝火 真里亞［戦闘装束］」等を発売し、これらがプラモデル製品の当該期間の売上獲得に貢献したものの、前年同期と比較して、売上全体を牽引したアイテムが少なかったことに加え、中国市場における代理店の在庫水準の見直しによる影響などを要因として、当該地域の売上は前年同期比で減少しております。

また、売上総利益については、原材料価格の高騰により金型代が上昇していることや１アイテムあたりの販売個数が減少していることなどを主要因として、収益性が前年同期と比較して低下している状況であります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は3,162,456千円（前年同期比16.5％減）、営業損失は277,793千円（前年同期は141,081千円の営業利益）、経常損失は295,799千円（前年同期は152,493千円の経常利益）及び親会社株主に帰属する四半期純損失は228,656千円（前年同期は104,219千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は12,726,116千円となり、前連結会計年度末に比べ157,030千円(1.2%)の減少となりました。

(流動資産)

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は8,406,813千円で、前連結会計年度末に比べ227,029千円(2.6%)減少しております。これは現金及び預金の増加133,948千円、商品及び製品の増加45,931千円並びに前渡金の増加168,975千円が発生した一方で、売掛金の減少564,343千円が発生したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は4,319,302千円で、前連結会計年度末に比べ69,998千円(1.6%)増加しております。これは投資その他の資産に含まれる関係会社株式の増加45,000千円及び繰延税金資産の増加79,949千円が発生した一方で、建物の減少24,586千円、有形固定資産のその他に含まれる金型の減少29,856千円が発生したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,050,841千円で、前連結会計年度末に比べ540,674千円(21.5%)増加しております。これは短期借入金の増加600,000千円、賞与引当金の増加61,931千円が発生した一方で、買掛金の減少161,364千円が発生したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,982,730千円で、前連結会計年度末に比べ91,996千円(4.4%)減少しております。これは長期借入金の減少99,663千円が発生したことが主な要因であります。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は7,692,544千円で、前連結会計年度末に比べ605,708千円(7.3%)減少しております。これは四半期純損失228,656千円及び剰余金の配当375,411千円を計上したことにより利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年８月14日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更ありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,115,681	4,249,629
売掛金	1,922,240	1,357,897
商品及び製品	988,696	1,034,627
仕掛品	658,615	658,564
貯蔵品	5,716	8,679
前渡金	412,594	581,570
前払費用	431,666	416,575
未収還付法人税等	37,647	34,343
その他	60,983	64,925
流動資産合計	8,633,843	8,406,813
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,472,622	1,448,035
土地	802,784	802,784
その他（純額）	1,037,577	995,681
有形固定資産合計	3,312,984	3,246,502
無形固定資産	168,908	180,603
投資その他の資産	767,410	892,197
固定資産合計	4,249,303	4,319,302
資産合計	12,883,147	12,726,116
負債の部		
流動負債		
買掛金	702,729	541,365
短期借入金	500,000	1,100,000
１年内返済予定の長期借入金	448,640	431,972
未払法人税等	28,225	8,716
賞与引当金	60,665	122,596
その他	769,906	846,190
流動負債合計	2,510,167	3,050,841
固定負債		
長期借入金	1,491,116	1,391,453
株式給付引当金	25,722	29,142
役員退職慰労引当金	266,950	267,225
退職給付に係る負債	224,254	228,156
資産除去債務	21,496	21,566
その他	45,186	45,186
固定負債合計	2,074,726	1,982,730
負債合計	4,584,893	5,033,571

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	469,460	469,460
資本剰余金	431,960	431,960
利益剰余金	7,638,982	7,034,914
自己株式	△279,560	△279,560
株主資本合計	8,260,843	7,656,775
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,410	35,769
その他の包括利益累計額合計	37,410	35,769
純資産合計	8,298,253	7,692,544
負債純資産合計	12,883,147	12,726,116

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,785,781	3,162,456
売上原価	2,536,178	2,337,779
売上総利益	1,249,602	824,676
販売費及び一般管理費	1,108,521	1,102,470
営業利益又は営業損失（△）	141,081	△277,793
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,575	3,718
為替差益	15,979	3,655
補助金収入	1,847	－
その他	564	1,052
営業外収益合計	19,966	8,426
営業外費用		
支払利息	8,365	9,237
為替差損	－	17,009
その他	190	185
営業外費用合計	8,555	26,432
経常利益又は経常損失（△）	152,493	△295,799
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	152,493	△295,799
法人税、住民税及び事業税	73,519	14,044
法人税等調整額	△25,245	△81,187
法人税等合計	48,273	△67,143
四半期純利益又は四半期純損失（△）	104,219	△228,656
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	104,219	△228,656

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	104,219	△228,656
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,146	△1,640
その他の包括利益合計	5,146	△1,640
四半期包括利益	109,366	△230,297
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,366	△230,297

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	325,100千円	400,487千円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。